

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/3 >

参考値

(データ集約 : 8/23)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(下方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年8月22日 9時45分～10時15分		平成25年8月22日 9時45分～10時15分		平成25年8月22日 10時40分～11時10分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	2.1E-05	0.01	ND	-	3.8E-05	0.01	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 1 0 と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約7E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約9E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/3 >

参考値

(データ集約 : 8/23)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上西南西側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上西南西側(横方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成25年8月22日 10時40分 ~ 11時10分		平成25年8月22日 11時35分 ~ 12時05分		平成25年8月22日 11時35分 ~ 12時05分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	1.2E-03	0.60	3.2E-05	0.02	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	2.6E-03	0.87	1.0E-04	0.03	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約7E-6Bq/cm³、Cs-134が約1E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-5Bq/cm³、Cs-134が約8E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 3/3 >

参考値

(データ集約 : 8/23)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上西南西側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上西南西側(横方向))				炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)			
試料採取日時刻	平成25年8月22日 12時30分 ~ 13時00分		平成25年8月22日 12時30分 ~ 13時00分				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-			1E-03
Cs-134 (約2年)	1.7E-04	0.09	8.7E-06	0.00			2E-03
Cs-137 (約30年)	3.6E-04	0.12	1.8E-05	0.01			3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約7E-6Bq/cm³、Cs-134が約1E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約6E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。